

11/14 (金) **高齢者の身体機能や高齢者への接し方を体験 認知症サポーター養成講座と高齢者疑似体験を開催**

茨城町社会福祉協議会が、長岡小学校において、認知症サポーター養成講座および高齢者疑似体験を開催しました。5年生が参加し、認知症とは何か、認知症の方への接し方について講義を受けた後、高齢者の身体機能を疑似体験しました。

疑似体験では、ボランティアに教わりながら、車椅子への乗車・走行・介助をしたり、視界が悪くなるゴーグルや重りの入ったサポーターを装着したりすることで、自身の身体との違いや不便さを体験しました。参加した児童からは、認知症の人や高齢者に対し、「優しく接したい。」「困っていたら助けたい。」という声があり、高齢者を見守る支援者としての意識の高まりがうかがえました。



12/3 (水) **思いやりの心を大切に 人権教室を開催**

葵小学校の3年生、2クラスを対象に、人権教室を開催しました。

人権教室は、人権擁護委員が中心となり、児童・生徒にいじめ等の人権問題を考える機会をすることにより、相手への思いやりの心や命の大切さを学んでもらうことを目的に開催されています。

児童は、教材のビデオを見て、いじめられている子、いじめをしている子、友達がいじめられているのを見ている子のそれぞれがどんな気持ちでいるか考え、発表しました。

最後に人権擁護委員から、「困ったことがあるときは、お父さんやお母さん、先生にお話してください。身近な大人に話しづらいときは、私たち人権擁護委員や、『こどもの人権110番』にぜひ相談してください。」とお話がありました。



9/17 (水) 9/26 (金) 10/3 (金) 10/10 (金) 10/15 (水)

**新たに4名の指導士が認定 シルバーリハビリ体操指導士3級養成講習会を開催**

令和7年9月から10月にかけて、桜の郷コミュニティセンターにおいて「シルバーリハビリ体操指導士3級養成講習会」が開催されました。

茨城町シルバーリハビリ体操指導士会1級指導士が講師を務め、先輩からの実体験を踏まえたわかりやすい講義により、指導士として必要な知識や技術を学びました。

新たに4名が3級指導士として茨城県知事により認定され、今後は町指導士会で活動し、住民の健康増進と介護予防の推進、地域の活性化のためにご協力いただきます。



11/11 (火) **涸沼水鳥・湿地センター周辺をきれいに 茨城町ネットワーカー等連絡協議会が美化活動を実施**



茨城町ネットワーカー等連絡協議会（照沼一美会長）主催による「涸沼水鳥・湿地センター周辺美化活動」が行われました。

当日は2班に分かれて作業が行われ、敷地内プランターの手入れや涸沼湖畔のごみ拾い、サイクリングロードの除草作業を行い、歩行者や自転車利用者の安全確保や涸沼周辺の環境美化活動に取り組みました。

\*茨城町ネットワーカー等連絡協議会は、県が推進するチャレンジいばらき県民運動の趣旨に賛同し、地域活動に取り組む団体です。

11/16 (日) **熱々のいも煮で楽しいひとときを 第4回 駒場 de いも煮会**

茨城町駒場庁舎グラウンドにおいて、「第4回駒場 de いも煮会」が開催されました。開催にあたり、町商工会からの支援を受けた他、地域の方々からは、寄付およびいも煮の具材や抽選会の商品を提供いただきました。

今回のいも煮は、奥久慈しゃも入り。150リットルの大鍋で作った約300食が振舞われ、たくさんの野菜が入ったいも煮を、家族や友人と一緒に笑顔で食べる姿が見られました。

また、子どもからご年配の方まで幅広い世代の方が参加し、小堤祭り囃子保存会によるパフォーマンスなども行われ、会場は大いに賑わいました。

